

仙台市太白山自然観察の森 情報誌

2021



# のおくりもの11

The Gift from Woods

No.362

コハウチワカエデ（ムクロジ科）



宮城県と仙台市では、新型コロナウイルス感染症の「独自の緊急事態宣言」と「リバウンド防止徹底期間」が10月末日で終了しました。

いままで外出を自粛されていたみなさまも、紅葉の見ごろを迎えた太白山自然観察の森から太白山まで足を延ばしてみてもはいかがでしょうか。

なお、散策する際は、引き続きマスクを着用する、密は避けるなど感染対策を取りながらお楽しみください。

日一日と日の暮れが早まっていますので、時間に余裕をもってお越しいただき、早めにご帰宅されることをお勧めします。

【写真・文 館長：川上正博】

# 森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

## 『雨過天晴』(うかてんせい)

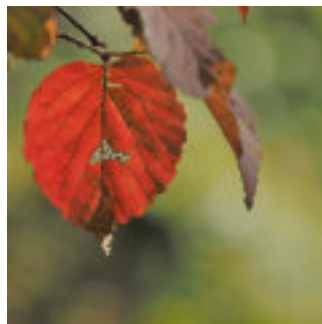
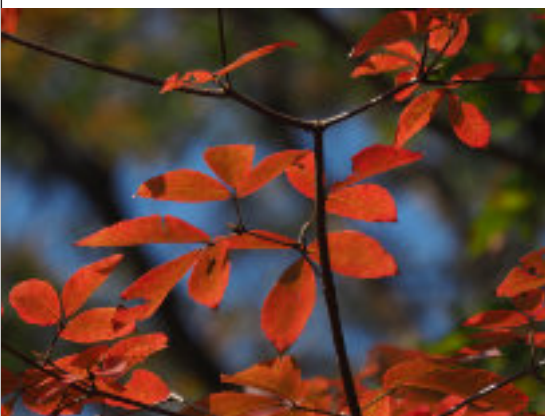
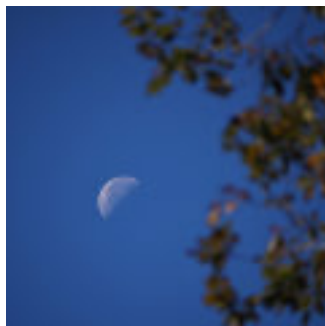
今シーズンの秋は、秋雨前線や台風などにより雨天が多く、爽やかな秋晴れの日が少なかった印象でした。また、10月前半は夏日が続き、季節外れの暑さだったと思ったら急に寒くなり、標高の高い所や北の地域で初雪などの冬の便りが届きました。服装も半袖姿から防寒着へと、秋を通り越して冬の装いになり、この極端な変化に最近の気候の異常さをひしひしと感じました。

不順な天候が続きましたが、天気が安定して秋らしい陽気が戻り、朝晩の冷え込みで日中との寒暖差があることで、あちらこちらで急に葉が色付き、日に日に紅葉が進んで森が美しく彩られて行きました。このことから感じた言葉は『雨過天晴』です。「雨がやみ、空が晴れ渡り明るくなる意味から、悪かった状況や状態がよい方向に向かうことのたとえ」です。

紅葉がきれいだからと、うかうかしてられず、心配なこともあります。今年の冬はラニーニャ現象の発生によって、厳しい寒さになるかもしれない予報があるようです。何年か後には温暖化による気候変動で、紅葉が美しく色付かなくなったり、時期が遅くなったりするかもしれないといわれています。

日本の美しい自然や豊かな文化は、穏やかな気候と四季があることで成り立ってきました。異常気象や極端な季節の変化が起きている将来ではなく、いつまでも四季折々の自然を楽しむことができている方向に向かうよう、未来を変えなければと思います。

【レンジャー：新田隆一】



# 11月の生物ごよみ

【植物】 太白山周辺で最後に咲く花『キッコウハグマ』と『リンドウ』は10月7日に開花を確認しました。昨年より1週間ほど早い開花日になります。センター付近の市道ではキブシの狂い咲きを見つけました。スミレなどの狂い咲きはよく見つけますが、キブシの狂い咲きは初めてです。

【紅葉】 毎年、太白山では10月後半から紅葉の見ごろになります。今年は暖かい日が続き少し遅れ気味ですが11月の中旬ぐらいまで楽しめそうです。

【ドングリ】 ここ数年不作続きでしたが、今年のドングリは豊作です。いたるところでドングリが落ちているのを目にします。特にであいの道ではたくさんのドングリが落ちていました。クリも豊作でした。

【ナラ枯れ】 初めに発見されたのが2013年の夏でした。昨年と同様に、今年も目立ったナラ枯れは見られませんでした。終息したのでしょうか？引き続き経過観察をしたいと思います。

【キノコ】 全体的に見て豊作とまではいきませんが、それなりにいろいろなキノコが発生しています。2～3年前からセンター付近でツキヨタケも発生しました。カエンタケに関しては今年は少ないようです。どちらも毒キノコです。

【野鳥】 冬鳥の一番手『ジョウビタキ』は10月21日にセンター付近で確認されました。アオジやキウイタダキなどの確認情報も入っています。冬鳥の動きはこれからに期待したいです。

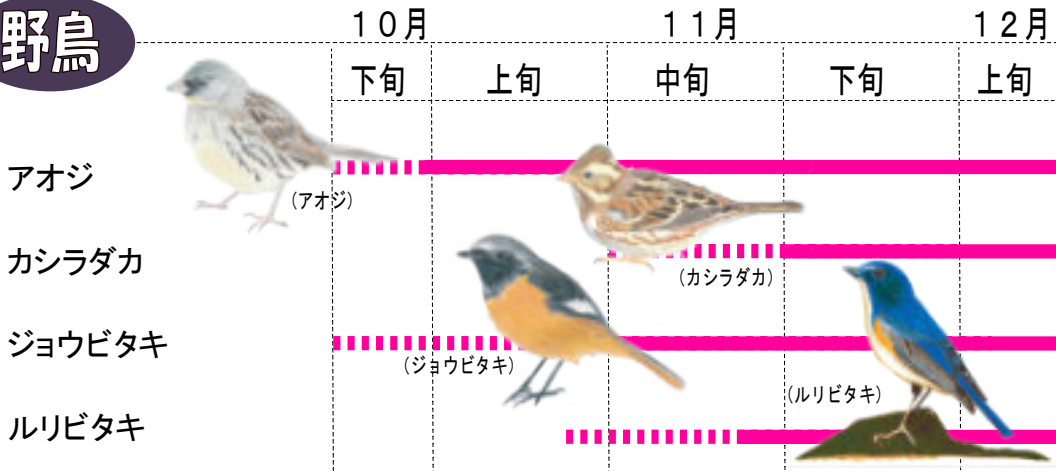
【野生動物】 今年は全体的にセンサーカメラに写る野生動物が少ない気がします。イノシシやタヌキなどはそれなりに撮影されていますが、ツキノワグマに関しては今年は全く撮影されていません。撮影されないからいないではないのでそれなりの注意は必要です。

【レンジャー：齋 正宏】



(狂い咲きのキブシ 10月15日撮影)

## 野鳥



# 森の「あれこれ」



## 「滝沢と太白の二ホンリスの巣について」



「岩手県滝沢森林公園 野鳥観察の森」を訪ねました。ゴジュウカラという太白では珍しい野鳥がいたり、ホオノキくらい大きなツタウルシの葉があったり、リスが追いかけてっこをしていたりと、自然度のとても高い所でした。

リスと言えば展示の巣を見た時のこと「あれ？何か違う…」と思いました。これまで宮城県内で10個ほど台風などで落ちたリスの巣を手にしりましたが、こちらの展示の方が緻密に作ってるように見えたのです。“個体差（個々のリスの違い）かな”と深く考えずに帰途についた時ふと“個体差でなく地域差ではないか？”（引き返して撮影した写真が左の②③）。リスはスギの皮をはがし細かく引き裂いて集め球状の巣をつくりませんが、滝沢のほうが細かくて緻密です、対して太白はもう少しざっくり裂いているみたい(写真④⑤)。ここから先は推論というよりは思いつきですが、内陸の岩手県滝沢市と南に約200kmの宮城県仙台市では冬の寒さはまったく違うので、その冬を乗り切るため岩手のリスはダウンのように保温性の高い巣をつくるのではないかと、比べて温暖な宮城県ではダウンより品質の劣るフェザーくらいの巣材で暮らしていけるのではないかと、いやそうに違いない大発見だと妙に盛り上がってしまったものの、実際はもっと沢山の観察をし、詳細に検証しないとイケませんね。でもこんなふうに、いきものたちに思いをはせて想像を膨らませるのは楽しいものです。【レンジャー：木田秀幸】

## 森は糸



## 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

ヌルデの葉に実のようなものがありました。よく見るとヌルデの実ではなく虫こぶのようです。他のヌルデには、サンゴのような赤い虫こぶもついていました。ヌルデはウルシ科の植物で樹液が塗料につかわれたり、実に染み出す成分（リンゴ酸カルシウム）が塩の代用として使われたりと昔からよく利用されてきました。しかし、ヌルデと言えばやはり虫こぶです！！（^^♪



ヌルデの葉はウルシに似て  
いますが葉柄に翼があり区別  
できます。紅葉もきれい!!

この虫こぶは、ヌルデハベニサンゴフ  
シと呼ばれています。ヌルデミミフシと  
は違う虫が原因でできます。

ヌルデの虫こぶ（五倍  
子）でヌルデミミフシと  
呼ばれています。

ヌルデミミフシはヌルデシロアブラムシが作る虫こぶで、その成分にはタンニンが非常に多く含まれることからインクのマテリアルや写真現像液のピロガノールのマテリアルとして用いられてきました。また、平安時代から空五倍子色（うつふしいろ）と呼ばれる伝統的な紫鼠（むらさきねず）系の色を作り出す染料として利用されるなど古から人の生活に関わってきました。大正時代ころまでは、鉄漿（おはぐろ）の原料としても使われていました。それにしても、昆虫が住処や食料としてヌルデに虫こぶを作らせ、ヌルデはおそらく身を守るためにタンニンを作り出し、それを人間が活用するなど生き物どうしがつながっているのは面白いですね。（^^♪

【レンジャー：菅原幸彦】

# 11月のイベント & お知らせ



## イベント

※ 新型コロナウイルス感染拡大や天候の急変等でイベントについても変更となる場合がありますので、観察の森のブログ等でご確認お願い致します。

※※ 参加の際、新型コロナウイルス感染対策のため同意書の記入をお願いしています。

### ◆「落ち葉でモザイク画をつくろう」

拾った落ち葉でモザイク画をつくって秋を楽しみます。

【日時】11月13日(土) 10:00~11:30

【対象】小学3年以上 【定員】10名

【持ち物】飲み物、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】11月6日(土) 9時より電話にて(先着)

### ◆「秋の鉤取山ネイチャーウォーキング」

自然についての解説を聞きながら秋が深まる鉤取山を歩きます。

【日時】11月20日(土) 10:00~15:00

【対象】小学生以上

【定員】15名(抽選)

【持ち物】昼食、飲み物、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】往復はがきに住所、氏名、年齢、当日連絡のとれる電話番号を記入の上11月10日(水)まで必着

### ◆「家族で森のポプリ探し」

森を歩きながら香りのする植物を探して、五感で自然を楽しみます。

【日時】11月27日(土) 10:00~11:30

【対象】5歳以上の子どもとその保護者 【定員】10名

【持ち物】飲み物、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】11月7日(日) 9時より電話にて(先着)

## ガイドウォーク

毎週日曜日開催

申込み不要、どなたでも参加できます

開催日:(7日,14日,21日,28日)

時間:10:00~11:30、13:30~15:00

## 休館日



1日,8日,15日,22日,29日

※毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合はその翌日

※ガイドウォークは来月12月より来年3月まで午前(10:00~11:30)のみとなります。

## 観察の森へのアクセス



### 宮城交通バスの場合

① 仙台駅 乗車時間 約40分

② 長町駅東口 乗車時間 約30分

③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗

※③のみ可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」

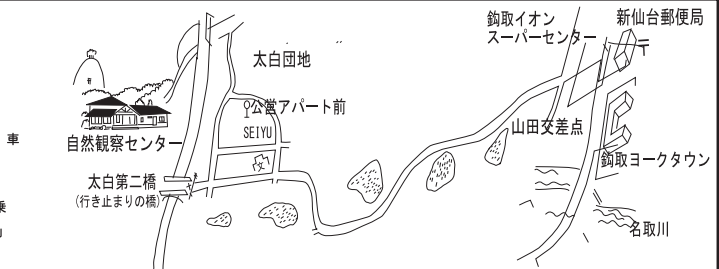
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。

道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。

駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター